

平成22年度事業計画

I 基本方針

わが国経済は、リーマンショックを契機とした世界同時不況から上向きつつあるといわれているが、デフレの要因とされる需要不足や円高などにより、自律的な力強い回復とはなっていない。

本県においても、売上・収益の急激な減少や資金繰りの悪化など多くの中小企業が苦境に立たされており、さらに所得環境や雇用情勢の低迷が続くなど、景気の先行きはなお不透明な状況にある。

今、地域総合経済団体としての商工会議所は、会員事業所に対する経営支援、地域産業の振興、雇用の創出等について、その役割がこれまで以上に強く期待されている。

当連合会は、このような実態を踏まえ商工会議所の役割が十分発揮できるよう、各商工会議所並びに他の経済団体等と一体となった事業の展開を図るとともに、第46回栃木県商工会議所議員大会での大会宣言（別添資料1）を踏まえながら次の諸事業を実施していく。

- 1 諸会議の開催
- 2 政策提言及び要望活動
- 3 関係機関との連携強化
- 4 商工振興事業及び調査研究活動の充実強化
- 5 人材育成等の充実強化
- 6 受託事業の運営

また、北関東自動車道の全区間開通が間近になったことから、茨城、栃木、群馬の商工会議所が広域に連携して、高速道路網を活用した産業の振興に取り組む。

さらに、公益法人制度改革に伴う当連合会の新法人への移行について、所要の手続きを進める。

加えて平成22年度は、各商工会議所議員の改選時期に当たることから、事業執行に支障がないよう各商工会議所との日程調整に十分配慮する。

II 事業概要

※下線部は内容強化・新規事業

1 諸会議の開催

本会の重要事項についての意思決定及び各商工会議所共通の課題解決のため各種会議を開催する。

(1) 通常総会、理事会の開催

ア 通常総会(年2回)、臨時総会(随時)の開催

イ 理事会、正副会長会議の開催(随時)

(2) 各種懇談会等の開催

ア 知事と正副会頭等の新春懇談会の開催(年1回)

イ 正副会頭セミナーの開催(年2回)

(3) 諸会議の開催

ア 緊急経済対策連絡会議の開催(随時)

イ 定例専務理事会議の開催(年11回)

ウ 事務局長会議の開催(年3回)

エ 中小企業相談所長会議の開催(随時)

オ 各種事業の担当者連絡会議の開催(随時)

2 政策提言及び要望活動

各商工会議所の意見を結集し、国、県、その他関係機関に対し政策提言及び要望活動を実施する。

(1) 政策委員会の開催

各商工会議所の共通課題を協議をする政策委員会の開催

(2) 第47回栃木県商工会議所議員大会の開催(鹿沼商工会議所主管)

ア 諸問題に対する提言・要望及び大会の決議等

イ 関係団体功労者に対する知事表彰

ウ 功労役員・議員及び永年勤続優良職員に対する会長表彰

(3) 関係機関に対する政策提言及び要望活動の実施(年間)

ア 景気対策、中小企業振興対策、税制改正、地域振興対策、中心市街地活性化対策等、各種分野について国、地方公共団体及び関係機関に対し、政策提言及び要望活動の実施

イ 日本商工会議所、関東商工会議所連合会及び近県商工会議所連合会

との連携による要望活動等の実施

ウ 県商工四団体、その他関係経済団体との連携による要望活動等の実施

3 関係機関との連携強化

関係機関との連携による活動と諸会議への参加・協力を行う。

(1) 国、県等との連携強化(年間)

ア 経済産業省、中小企業庁、関東経済産業局、栃木県等が実施する事業、会議等に対する協力及び参加並びに連絡調整業務の強化

イ 関係行政機関の施策、示達事項等の連絡協議

(2) 関係機関との連携強化(年間)

ア 日本商工会議所が実施する事業、会議等に対する協力及び参加

(ア) 第112回、第113回通常総会 (東京都)

(イ) 全国商工会議所観光振興大会2010 (青森県青森市)

(ウ) 第64回全国商工会議所専務理事・事務局長会議 (山形県)

イ 関東商工会議所連合会が実施する事業、会議等に対する協力及び参加

(ア) 第53回総会 (千葉県)

(イ) 運営研究会 (東京都)

ウ 隣接県商工会議所連合会との連携

(ア) 茨城、栃木、群馬3県商工会議所交流会議の開催(宇都宮商工会議所主管)

(イ) 四県連(茨城・埼玉・群馬・栃木)専務理事会議の開催(前期：群馬県、後期：栃木県)

(ウ) 四県連事務担当者連絡会議の開催(群馬県)

エ 栃木県商工三団体協議会の連携強化(県商工会議所連合会主管)

オ その他関係団体等が実施する事業、会議等に対する協力及び参加並びに連絡調整業務の強化

4 商工振興事業及び調査研究活動の充実強化

各商工会議所に必要な情報の収集及び提供並びに共通課題についての調査研究活動等を実施する。

- (1) 栃木県商工会議所共済制度統一キャンペーンの実施
- (2) 県内共通の商工会議所施策紹介パンフレットの共同作成
(栃木商工会議所主管)
- (3) 各商工会議所が行う広域連携事業に対する支援(年間)
- (4) ホームページによる情報発信(年間) <http://www.ftcci.or.jp/>
- (5) 公益法人制度の改革に伴う新法人への移行手続(年間)
- (6) 商工会議所組織調査の実施(年1回)
- (7) 月例経済概況調査及び県下有効求人倍率状況調査の実施(年間)
- (8) 県内企業倒産状況調査(年間)
- (9) 海外経済状況等の調査研究(年間)

5 人材育成等の充実強化

平成21年度にとりまとめた研修体系に基づき、各種研修事業を実施する。

- (1) 経営指導員の資格を付与する人事管理委員会の開催(年1回)
- (2) 一般研修会の開催
 - ア 新規採用職員研修会(年1回)
 - イ 新規採用職員継続研修会(年1回)
 - ウ 中堅職員研修会(随時)
 - エ 栃木県商工会議所正副会頭セミナー(年2回)
 - オ 栃木県商工会議所専務理事研修会(宇都宮商工会議所主管)
- (3) 専門研修会の開催
 - ア 経営指導員専門研修(随時)
 - イ 経営指導員等技術研修会(宇都宮商工会議所と共催)
 - ウ 栃木県商工会議所経営指導員等県外先進地調査研修(年2回)
前期：大田原商工会議所主管、後期：日光商工会議所主管
 - エ 経営指導員等資格取得事前研修(商工連と共催)
- (4) 第32回栃木県商工会議所振興委員研究集会の開催(栃木商工会議所主管)

6 受託事業の運営

受託団体の事務を運営し、各団体の事業計画に基づく諸事業を実施する。

- (1) 栃木県商工会議所青年部連合会の事務運営(年間)
 - ア 諸会議の開催

- (ア) 総会 (年1回)
 - (イ) 役員会 (年5回)
 - イ 事業の実施
 - (ア) 研修会 (年1回)
 - (イ) 情報交流プラザ (佐野商工会議所青年部主管)
 - ウ 日本商工会議所青年部事業への協力及び県外青年部との交流
 - (ア) 関東ブロック大会への参画 (群馬県太田市)
 - (イ) 全国大会 (宮城県仙台市)、会長研修会 (香川県高松市)
 - エ 栃木県青年経営者団体協議会事業への参画
- (2) 栃木県観光土産品公正取引協議会の事務運営(年間)
- ア 諸会議の開催
 - (ア) 総会 (年1回)
 - (イ) 役員会 (年3回)
 - イ 事業の実施
 - (ア) 店頭試買検査会 (年1回)
 - (イ) 認定審査会の実施 (年1回)
- (3) 栃木県珠算連盟連合会の事務運営(年間)
- ア 諸会議の開催
 - (ア) 総会 (年1回)
 - (イ) 役員会 (年2回)
 - イ 事業の実施
 - (ア) 各商工会議所が行う珠算競技大会に対する協力
 - (イ) 珠算振興に関する広告宣伝 (県内珠算4団体と共催)
 - (ウ) 珠算指導員の資質向上研修会の開催 (県内珠算4団体と共催)
 - (エ) 栃木県珠算ボランティア協会への協力 (県内珠算4団体で構成)
- (4) 栃木県海外経済交流協議会の事務運営(年間)
- ア 諸会議の開催
 - (ア) 総会 (年1回)
 - (イ) 幹事会 (随時)
 - イ 事業の実施
 - (ア) 海外経済情報セミナー等の開催
 - (イ) 海外からの経済調査団等の受け入れ応対等

大会宣言

今日の経済は、昨年からの世界的な金融危機と世界経済の急激な減速等、極めて深刻な状況に陥っている。

本県中小企業にあっては、事業の継続や雇用の維持に努めているが、「受注・売上の急激な減少」、「資金繰りの悪化」、「個人消費の低迷」等、企業経営は危機的状況にある。

現下の厳しい経営環境を乗り越え、活力とにぎわいのある郷土^{ふるさと}“とちぎ”を実現するため、本日の議員大会において、我々商工会議所会員の行動指針を決意するとともに、次のことについて関係機関等に提言要望する。

行動指針

- 一 地域経済の代表者としての自覚と誇りを持ち行動する。
- 一 常に自らが実践することを理念に事業を展開する。
- 一 魅力ある地域の創造を目指し常に挑戦する。

提言要望事項

- 一 中小企業対策の推進
～経済危機を乗り越えるために～
- 一 魅力あるとちぎづくりの推進
～活力とにぎわいのある郷土^{ふるさと}“とちぎ”を目指して～

平成21年9月11日

第46回栃木県商工会議所議員大会